

「観光と交通」

昆布谷健介 田中大地 村上泰貴 渡辺麻未

1. まちを支える観光

- i 観光＝経済活動…定住人口と交流人口
- ii 観光＝まちづくり…まち側・観光客側からの動機

2. 観光と交通の関係性

観光の与える効果 観光と交通の相互関係

観光の3構成 観光主体・観光客体・観光媒体

観光における交通の位置付け

① 観光と交通の相互関係

交通網の整備や廃止・観光の魅力向上が影響する場合

交通と観光とが相互影響を及ぼし合う場合

交通と観光がさほど影響を及ぼし合わない場合

<具体事例>

二次交通整備による交流人口拡大計画

(1) 長崎県壱岐市…観光客の多様なニーズに呼応した旅行形態を提供できる島

大都市である福岡から高速船で僅か1時間という好立地

- ① 島ブームの減退・地域間競争の激化→観光客数が減少
- ② 豊富な観光資源：国指定特別史跡「原の辻遺跡」、日本遺産認定第一号を受ける歴史遺産、1,000以上の神社が点在、ブランド特産品も豊富に揃う。
- ③ 教育旅行やスポーツ合宿、更に近年注目されている海や自然を活かした体験プログラムの充実。

*課題：観光客が求めるサービスと本市が提供したい・できるサービスのミスマッチ

二次交通の不足・不便さ港・空港から観光地や宿泊施設などの観光客が目指している目的地までのアクセス本数が少ない、もしくはない

→観光客が求めるもの、また逆に提供したいものが提供できない

魅力を観光客へ十分伝えることができていないことにより、観光客数やリピーターの増加が図られていない現状

*対策：電動自転車（壱岐ちやり）→本市ならではの魅力、おもてなし力の向上

✓ 免許不要で気軽に島内を周遊

利用が増加している二次交通対策の起爆剤とし、電動自転車（壱岐ちやり）による新たな周遊ルートを宿泊業・旅行業・交通業・飲食業と連携により発掘し、着地型旅行商品

の販売に係るテストマーケティングの実践の検討やその他市場調査やモニターツアーなどの実施により、改善を図り、交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化を目指す。

鳥取 2000 円タクシー利用による二次交通の課題解決

(2)鳥取県鳥取市…日本人の需要減少、韓国ドラマ「アテナ」のロケ地誘致

- ① インバウンド（訪日）観光の課題の二次交通の不便さ
- ② 外国人観光客の負担点：観光地は市内に点在→移動時間、路線バスの乗継ぎ、交通費
- ③ ②によって、プロモーションは期待できず鳥取市の外国人観光客なら誰でも使える、3時間乗り放題の「2000 円タクシー」

* 3 者による費用負担案 鳥取市：4000 円、鳥取県：4000 円を補助金として負担、

* 受け入れ体制の準備 タクシードライバー、宿泊施設や商業施設の方々

- ・ 外国人サポートセンターを設立：予約の受け付け
- ・ 観光マイスター制度：鳥取観光のエキスパートを育成 人材育成

インバウンドへの対応の根付き

外国人観光客の増加→タクシー会社：自主的に研修、宿泊施設：多言語の案内表示

利便性の向上、受け入れ体制の強化：外国人サポートセンター時間外も対応

* 海外でのプロモーションを本格化→韓国、台湾（商談会や現地の旅行会社にセールス）

インターチェンジ付近の工夫

(3)石川県金沢市…日本三名園のひとつ「兼六園」 県外の観光客による渋滞に頭を悩ませている

* 専用バスチケット

- ・ インターチェンジを降りたところにシーズン中だけの臨時駐車場を用意
- ・ 総額 1000 円の支払いで、車 1 台に乗車している全員分の一定期間乗り放題の専用バスチケットを配る

* バス運行の円滑化 シーズン中だけバス専用車線を増やす

* 情報の見せ方に工夫 初めて訪れる観光客

目的地までの所要時間、その観光地でパーク＆ライド（P&R）実施が周知されていない

→インターチェンジ付近に看板を設置

- ・ 市街地に車を乗り入れて兼六園の付近の駐車場へ停める場合の所要時間、その場に車を停めてバスを使って兼六園へ行く場合の所要時間を併記
- ・ パーク＆ライドを利用するメリットを明確化→利用増に貢献

ビジター向けの P&R は通勤者向けと違い、不慣れな人に対していかに分かりやすく情報を表示できるかが重要になる。

公共交通優先の観光地づくり

(4)京都府京都市…京都観光への不満の大部分が観光交通の問題

- ① 道路混雑による旅行速度の違い
- ② 道路混雑による滞在時間の短縮

公共交通利用者は、自動車利用者に比べ 1 日に訪問する観光地数が多く、観光地での滞在時間も 30 分程度長い

→観光交通が招く観光地魅力度低下…充実した観光ができない

*渋滞の原因…自動車利用（観光地へ向かう際の公共交通機関の利用が不便のため）

*対策：公共交通優先の観光地づくり

道路混雑の緩和による観光地の魅力向上や、観光活動の充実など、京都観光の今以上の活性化に繋がる可能性があるといえる。

✓ 観光交通施策…自動車の規制→P&R の実施

広報の必要性 アンケート結果自動車利用者の 8 割以上が施策の実施を知らず、うち 3 割以上が「知っていたらたぶん利用した」と回答している。

→利用者への周知が成否に大きな影響を及ぼす。

二次交通の充実の重要性

- ・ 二次交通の供給形態の拡充・見直し
- ・ 効果的な情報提供

3.観光と交通—宇都宮市—

<宇都宮市にとっての観光の必要性>

私たちは、宇都宮市の観光について宇都宮市の経済部観光交流課の方にお話を伺った。

「宇都宮市はビジネス客が多く、観光で稼ぐというまちではない。宇都宮市の行政や企業
の感覚としては、観光による収入は不安定と考えており、マイナスのイメージを持っている。
しかし、宇都宮市は人口減少が避けられず、外貨を獲得するためにインバウンド客を取り込
みたいと考えている。また、宇都宮市の近くには日光があり、経由地となってる。宇都宮市
内を楽しんでもらっていないということから、宇都宮市内に滞在してもらう着地型観光が
必要だと考えている。また、公共交通は広く経済効果をもたらすため、観光客には公共交
通を利用してほしい。」

<観光と交通の関係>

宇都宮の観光資源

- ・餃子…宇都宮と言えば「餃子」。宇都宮の観光の中心。
- ・石の里・大谷地区…大谷石の採掘場。資料館や寺がある。雨水が貯まった地下空間を利用した「地底湖クルーズ」が人気
- ・道の駅ろまんちっく村…メディアでも多く取り上げられている注目の道の駅。
農産物直売所・体験農場などが複合した体験型施設。
- ・二荒山神社…宇都宮は、この二荒の森を中心に栄えてきた街。今も昔も二荒山神社は宇都宮に住む人の心のよりどころ。
- ・宇都宮餃子祭…毎年開かれている祭。市内の餃子店が一堂に会する。
- ・FIBA3×3 ワールドツアー宇都宮マスターズ…三人制のバスケットボールの世界大会
- ・ジャパンカップワールドサイクルロードレース…アジアにおける最大の自転車競技大会。

このように、宇都宮市は観光資源が豊富である。しかし、それら観光名所間の距離は離れており、公共交通を利用した場合に市内を満喫することは、自動車利用時と比べ困難だと言える。大谷地区やろまんちっく村は宇都宮駅から遠く、徒歩圏内ではない。また、イベントが行われる場所も駅から徒歩となると距離があり、なんらかの交通手段が必要になる。餃子店も宇都宮市内に点在しており、車を持たない人が簡単に食べ歩きをできるわけではない。そのため、公共交通の利便性の向上が必要となる。

観光面で、公共交通の利用促進が図られている。宇都宮市には公共交通と観光を結びつけた企画乗車券が存在する。企画乗車券は決まった路線上であれば乗り降り可能であり、入場料や割引券のセットになっているものであり、乗車券を提示することで路線沿線の観光施設・飲食店・土産店で特典が受けられる。宇都宮市の WEB サイトに掲載されているものは4つある。

大谷観光一日乗車券	大谷への路線バス一日乗車券と、「大谷資料館」「大谷観音（大谷寺）」の入場券・拝観券がセットになっている。料金は 1680 円で 420 円お得になる。
ろまんちっく村満喫きっぷ	「道の駅うつのみや ろまんちっく村」で使える「園内利用券」と、JR 宇都宮駅からの乗り降り自由な「路線バス一日乗車券」がセットになっている。
きぶな一日乗車券 『ぎょうぎ食べ歩きっぷ』	市内循環バスきぶなの一乗車券と「餃子」店舗で利用できる券がセットになっている。料金は 500 円で餃子食べ歩き券 300 円がついている。200 円できぶな乗り放題になる。

宇都宮―益子フリーきっぷ	宇都宮から益子間のバス乗車券と、宇都宮餃子食べ歩き券がセットになっている。料金は 2500 円で 500 円の餃子食べ歩き券がついている。
--------------	---

宇都宮市内の企画乗車券

企画乗車券という形になってはいないが、着地型観光の一環でツアーやモデルコースの提案をするパンフレットや WEB サイト「みやたび」で公共交通を利用した観光の提案がされている。

問題意識

宇都宮市の観光において交通は大切な要素であるが、私たちは、宇都宮市に住んでいて、そもそも住民にとってバスが使いにくいのではないだろうか考えた。そして、住民にとって使いにくいものが観光客にとって使いやすいものではないだろうと考え、住民に対してアンケートを行った。宇都宮市内の公共交通はバスが中心のため、アンケートはバスの話題が中心である。

注：アンケートは 2017/11/5～2017/11/13 の間に Google フォームで行ったものであり、回答数は 153 である。

アンケートの結果（一部のみ掲載）

- ・市内の路線バスに関して何らかの不満を持つ人—73.5%
最も多かった理由は「乗るべきバスが分かりにくい」



- ・道路状況によってはバスが定時運行することは困難であるため、バスの遅延に対する不満がある。
➡利用者は、待っていた時刻にバスが来ない。または 1 つ前に来るはずだったバスがその時刻に来ることによって混乱する。
- ・路線バスで目的地に行くとき、時間や乗り換えについてどのように調べるかという質問に対して、調べる手段（アプリ、ウェブサイト、時刻表など）が多いため、調べ方が様々である。
➡有益な情報があちこちに存在し、一つの場所にまとまっていない。そのうえ情報媒体によって、掲載されている情報が異なる。

- ・企画乗車券や宇都宮駅にあるバスの総合案内パネルの認知度が低かった。
➡公共交通の利用を促す、また利用を便利にする有益な取り組みが周知されていない

現在、バスの総合案内パネルやバス会社の WEB サイト、交通アプリなどを利用することにより、乗りたいバスを知ることができる。さらに、バス会社の WEB サイトでは、路線別でバスの現在地を大まかに知ることが可能であることから、遅延に対する利用者の混乱も改善されるのではないだろうか。これに加えて、企画乗車券の利用者が増加することによって路線バスの利用が活発になると考える。

既存の取り組みが利用されることによって、路線バスに対しての不満が解消される可能性がある。

以上のことから、☆情報を知りにくいことが根本にある課題であると考える

因みに、宇都宮はコンパクトシティ¹の構想を掲げており、LRT²の設置が計画されている。そのため、これから公共交通を運営する主体が多様化し、それに伴って情報が多様化する可能性がある。よって、情報をわかりやすく伝える必要がある。

解決方法

- ・情報をまとめたアプリや WEB サイトの作成
- ・宇都宮市内の観光施設や商業施設の WEB サイトのアクセスの欄に最寄りのバス停を記載する

5. まとめ

情報入手場所の明確な表示

「観光客」への情報提供

- ・観光客が必要とする情報提供を行っている場所（案内所、パンフレットラック、案内図等のある情報コーナー等）への的確な方向指示が必要。
- ・二次交通の利用方法や案内図等の情報は、その利用を行う乗り場において提供することが多いが、複数の路線が乗り入れる大規模な交通結節点においては情報を一元的に提供する案内所を設ける。
- ・観光需要の増大が見込まれる外国人に配慮した取り組みも必要である。
- ・ホームページ等を活用した情報提供…広域周遊型観光のニーズへの対応や海外等への PR 活動のためにも、インターネット上のホームページやパンフレット等は提供可能な情報量が多く、二次交通の利用方法等の複雑な情報を提供するのに適する。

¹ ネットワーク型コンパクトシティとは、拠点を設定し、その拠点中心として、地域の機能を集約すること。宇都宮市の計画では、拠点間の大きな移動・地域内の移動では公共交通の役割が異なる。

² LRT (Light Rail Transit) とは、次世代の路面電車のこと。騒音がすくなく、乗り場(ホーム) との隙間が狭いなどの特徴がある。

参考資料

須田寛 (2009) 「観光—新しい地域—」 学芸出版社

米浪信夫 (2000) 「MINERVA 現代経済学叢書 39 観光と地域経済」 ミネルヴァ書房

鳥取 1000 円タクシーで 2 次交通の課題解決！ 韓国、台湾から急増中 <https://clair-inbond.net/tottori/> (2017 年 11 月現在)

国土交通省観光庁 (2014) 「インバウンド着地型観光の手引き」

利用者が“便利” だと思えるパーク&ライド——これが最優先ですね (前編)

http://www.nikkeibp.co.jp/style/eco/interview/070302_parkandride/index2.html (2017 年 11 月現在)

観光地における P&BR 実施時の情報提供に関する研究*—金沢市における事例研究—

https://www.jstage.jst.go.jp/article/journalip1984/14/0/14_0_943/_pdf (2017 年 11 月現在)

金沢市 「金沢の交通政策」

<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/11031/index.html> (2017 年 11 月現在)

国土交通省 「地域交通ガイドンス」

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000008.html (2017 年 11 月現在)

国土交通省 「観光と交通との相関関係」

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/ppg/ppg9/kankou.pdf> (2017 年 11 月現在)

壱岐市 「地域再生計画」

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/tiikisaisei/dai41nintei/plan/a538.pdf> (2017 年 11 月現在)

国土交通省 「地域交通ガイドンス vol.9」

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/ppg/ppg9/ppg9.htm> (2017 年 11 月現在)

国土交通省 「観光振興に向けた二次交通の充実について」

<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/chikoushin/10chikoushin/ks-chikoushin10-03.pdf> (2017 年 11 月現在)

国土交通省 「第 5 章 二次交通の充実に向けた施策の構築」

<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/chikouushin/ks-seisaku02-03-05.pdf> (2017 年 11 月現在)

国土交通省 「平成 18 年度国土施策創発調査 京都を中心とした歴史都市の総合的魅
力向上調査に係る観光客の動向調査」

[http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/souhatu/h18seika/03kyoto/03_doukou_02youyaku
2.pdf](http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/souhatu/h18seika/03kyoto/03_doukou_02youyaku2.pdf) (2017 年 11 月現在)